

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年7月17日
長崎市立畝刈小学校
学校だよりNO. 64
校長 田中 成年

＜子ども真ん中教育＞

～着衣水泳 命を守る～

学年の水泳の学習も終了しました。この日6年生は、着衣水泳を行い自身の命や周囲の人の命を守る訓練を行いました。



まずは、先生が手本となり、様々なものを使った人命救助の方法を学びました。500mlや2000mlのペットボトル、ボールやビニール袋、ランドセル、着ているものを使って浮く方法などを学びました。



ペットボトルもそのまま投げるよりも少し水を加えて投げる方が、より正確に相手に渡すことができます。



服を着たまま水に入ると、洋服が水を含んで重いことも実感しました。実際にペットボトルを手にして、背浮きを試してみました。すぐに上手に浮くことができる子供たちもいましたが、沈んでしまう子供たちもいました。

顔さえ何とか水から出すことができれば、命は助かります。全身の力を抜いて落ち着いて体を浮かすことができれば、大丈夫ですね。



まずは、自分や周囲の状況を冷静に判断して、どのような行動をとるかを考えることが必要ですね。焦ることなく、何ができるか、何を使えるかを考え実行に移すことが、命を守ることや救うことにつながります。

これから暑くて長い夏が続きます。子供たちは保護者の皆さんと一緒に海や山、川や海に出かける機会も多くなるかと思います。水の事故には十分に気を付けながら楽しい夏休みを過ごしてもらいたいと思います。

学校教育目標は **子供ど真ん中**

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する児童の育成」です。